

# ドイツ語と音楽・ドイツリートとオペラの旋律

ドイツ語文を音楽との関連で捉える、音楽やドイツ歌曲に興味のある方におすすめのユニークな講座です。

## 講義内容

19世紀、ドイツ語の歌詞を用いる歌曲やオペラは、クラシック音楽の中で独自のジャンルを確立しました。これらの「ドイツリート」や「ドイツオペラ」は旋律と言語が密接に結びついています。2021年第1回ドイツ語特別講座では、ドイツ語の「基礎文体」を取り上げました。これらの「文体」は18世紀～19世紀初頭の音楽教科書の中でも取り上げられており、それぞれの「文体」の特色を旋律によって適切に表現することは、作曲家に求められる能力の一つでもありました。今回は、1回目で言語と音楽のそれぞれの聴き方、言語の文法と音楽旋律の「文法」などをテーマにお話します。その後の3回は、歌曲の具体例を取り上げながら、時代や作曲家を超える共通点とそれぞれの特徴を追跡します。

## テーマ

- 第1回：言語の「旋律」対音楽の「旋律」・歌曲の「文法」とは？【終了】
- 第2回：ウィーン古典派の旋律、モーツァルト、そしてベートーヴェンとシューベルト
- 第3回：R.シューマンとR.ワーグナー
- 第4回：G.マーラーとR.シュトラウス

## 講師紹介

神戸日独協会常務理事 **Dr. Stefan Trummer-Fukada** 氏(元神戸大学教授)  
オーストリア生まれ、〈ウィーン大学〉で音楽学、演劇学、日本学、〈ウィーン・F.シューベルト音楽学院〉で作曲を学ぶ。在学中にオーストリア政府奨学生として日本留学、長年日本の大学で教鞭をとる。博士論文をはじめ、ドイツ語圏の作曲学史について数々の論文を発表。第14回吹田音楽コンクール作曲部門第1位、2004年アイアランド・アークロウ音楽祭優秀賞。

## 日時

- 第1回：1月22日(土)【終了】
- 第2回：1月29日(土)
- 第3回：2月5日(土)
- 第4回：2月12日(土)
- いずれの回もAM10:30～12:00

## 形式

ZOOMによるオンライン授業。  
協会会議室(当館19F)でもオンライン聴講できます。

## 定員

各回20名

## 受講料

1回につき1500円/一般(1000円/会員)

## 申込受付

メール [info@jdg-kobe.org](mailto:info@jdg-kobe.org)  
電話 078-230-8150(月～金12～18:00)  
申込後、入金を確認し次第、アクセスのリンクをお送りいたします。  
その他詳細はお問合せください。